

「同窓会の活動記録制作プロジェクトチーム」

メンバーの募集について

2024年12月 市川二中同窓会総務企画委員会

《コンセプト》

市川二中同窓会再発足30周年を契機に、同窓会の年間を通しての活動を具体的に記録し、同窓会の全体像を俯瞰できる映像を作成し、広報活動を進めるとともに後世へ残す。

この間、同窓会の諸業務の中でも確実にデータを保存すべきものに関し、専用のノートパソコンを使用することとし、名簿管理、会計管理、会則や細則、諸会議の議事録、一連の活動記録などのデータ保存が現在進行している。このPCは、情報流出や悪質な侵入を防ぐために「ネット」等外部との接触を禁じている。

同窓会ホームページには創成期の会報、再発足、そして現在までのすべての会報や記念誌などの記録が保存されており、各方面の諸活動や各期の情報なども掲載されている。また、最新の機材を確保して現在も広報活動を行っている。

このことで、同窓会活動の歴史的な情報を未来へ継続させる取り組みが可能となってきたが、これ等はあくまでデータとしての保存であり、同窓会活動全体を俯瞰できるような記録としては不十分であるので、これを保証し広く活用できる様な映像作品が必要である。

また万一に同窓会活動が「休止」した場合、これを再開する際に「休止」以前の実際の活動形態がどのようなものであったかを知らせる記録としても活用することができる。

そこで、同窓会活動の1年間を通した諸活動を、映像を多用して記録しておくことは、現状において大いに求められる事である。

《記録を残す期間と対象》

期間は第28回定期総会から第30回定期総会までの2年間とし、この間のあらゆる活動を対象とする。

対象は定期総会・評議委員会・理事会・各委員会などの会議の様相やそこでの活動内容、会長を中心とした対学校交渉や学校行事への参加の状況とその様相、新会員獲得を目指しての「生徒会」との交流の様相、本年再開された「NFes」への関わりとその様相、地域諸団体への関わりとの状況とその様相、会報作成と発送及び回収実務の状況、定期総会の諸準備活動の様相、その他とする。

可能であれば、歴代会長を中心に活動の歴史を知る理事等の懇談を企画し、同窓会再発足にいたる過程と継続発展してきた経緯などを音声を含む映像で記録することが望ましい。